

# 第5学年 授業改善推進プラン

1組 22 2組 22

## 1 昨年度 授業改善推進プランについての検証

国語科	作文指導・読書指導に関しては計画的に行われた成果が見られる。自分の考えを言葉にして発表することや文章にして書くことに課題のある児童がいる。目的に応じて読み取る力をさらに育てていく必要が感じられる。
社会科	社会的な事象についての関心や意欲は高い。基礎的・基本的な事項の内容については理解している。具体的な資料を効果的に活用し、調べたことを表現するための資料の読み取りや構成していく力に欠けている面が見られる。
算数科	全ての問題に対する正答率が高い。数量的な見方や考え方をし、筋道を立てて課題を解決していく力が弱い。図形の学習では想像的に描いたり、具体的に活動したりする確実さに欠ける。
理科	自然事象への興味・関心はあるが、知識理解が不十分である。観察や実験の結果を基に課題を解決していく能力に欠けている面が見られる。
体育科	もっとできるようになりたいという向上心はあるが、課題を解決させるための方法が分かっていない。練習方法を指導しても、自らすすんで取り組もうとする意欲が低い。
音楽科	歌唱や器楽などに意欲的に取り組んでいる。歌は発声に気を付け美しい声で歌うことができる。リコーダーは、ほぼすべての音域を使用した楽曲に取り組むことが多いが特にサミングが必要なあたりで指使いが混乱するときがある。
図画工作科	大変意欲的に活動に取り組んでいる。おおむねの児童が豊かに発想しているが、発想を広げられない児童もいる。

## 2 学力に関する調査結果の総括（大田区学習効果測定の結果に対する考察） ※全体の傾向

国語科	目標値より ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 全ての内容で目標値を上回っている。</li> <li>☆ 「漢字の読み取り」では、目標値を13ポイント上回っている。</li> <li>☆ 「説明文の内容を読み取る」問題では、重要な文章に着目して読むことができ、目標値を12ポイント上回っている。</li> <li>・ 「言葉の学習」では、主語・述語・修飾語への理解に課題がある。</li> </ul>
社会科	目標値より ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ ほぼ全ての内容で目標値を上回っている。</li> <li>☆ 「県の様子」では、目標値を11ポイント上回っている。</li> <li>・ 「安全なくらしー火事」では、消防の施設や設備について、その目的を思考する問題に課題がある。目標値を20ポイント下回っている。</li> </ul>
算数科	目標値より ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 全ての内容で目標値を上回っている。</li> <li>☆ 「計算のふく習」「計算のきまり・変わり方調べ」では、目標値を22ポイント以上上回っている。</li> <li>・ 「面積」では、図形の面積を求める問題に課題がある。</li> </ul>
理科	目標値より →	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ ほぼ全ての内容で目標値と同じである。</li> <li>・ 「1年間の動物の様子」「物の体積と温度」では目標値を5ポイント下回っている。</li> <li>・ 「1年間の動物の様子」では、昆虫の一年間の生活の知識・理解に課題がある。</li> </ul>

## 3 平成30年度 授業改善推進プラン

### 国語科

関心・意欲・態度	課題	自分の考えや感想を書くことを苦手とする傾向が見られる。
	重点	作文(感想文)や「書くって楽しいね」の指導を計画的に行う。
話すこと 聞くこと	課題	調べたことなどについて筋道を立てて話す能力と、相手意識をもって伝えることに課題がある。
	重点	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら進行に沿って話し合う機会を多く設ける。相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すことができるように指導する。
書くこと	課題	道筋の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書くことに課題がある。
	重点	文章全体の構成を考え、自分の考えが明確になるように、事実と感想・意見などを区別して文章を構成することができるようにする。そのために、自分が書いた文章は必ず読み返すようにさせ、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする習慣をつけることができるように指導する。
読むこと	課題	登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えたり、自分の考えをまとめたりすることに個人差がある。
	重点	叙述内容に即して読むこと、登場人物の心情や、情景描写に注目して読むこと、調べ学習など目的に応じて読むこと、声に出して読むことを発達段階をふまえて重点的に指導する。
言語に関する 知識・理解	課題	既習の漢字や言葉を日常の学習場面で使おうとしない児童がおり、言語に関する知識・理解の定着がやや不十分である。
	重点	漢字やローマ字の読み・書きは、日常的に使用できるような指導を継続し、高い定着度を維持できるようにする。語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語感や言葉の使い方に対して意識させる。

### 社会科

関心・意欲・態度	課題	学習計画を立てる経験が不足している。学習課題にすすんで取り組もうとする姿勢や、すすんで自分の考えを表現しようとする態度が十分に身に付いていない。
	重点	資料提示の仕方を工夫し、見学して分かったことや気が付いたことと既習事項を基に、学習計画を立てる活動を行い、学び方を身に付けることができるような指導を繰り返す。
社会的な 思考・判断	課題	学習したことや見学したことを資料に関連付けること、自分の考えを相手に伝えるように表現することに課題がある。
	重点	調べ学習や見学の際に、自分の調べる視点を明確にし、予想を立ててから行う。多様なまとめの方法を具体的に指示し、自分の考えを書く活動や意見を伝え合う活動を繰り返し行う。
資料活用 の技能	課題	見学したことや調査したことを図・写真などを活用してまとめること、具体的な事例を挙げて見学新聞などにまとめることに課題がある。
	重点	地図帳の扱い方(索引の使い方、等高線、縮尺など)、都道府県の位置や名称など児童の発達段階に応じた地図指導を確実に行っていく。見学新聞や報告文などにまとめる学習を繰り返し、自分の考えを盛り込んだまとめ方の技能を身に付ける。
社会事象 の理解	課題	国土の地形や気候の概要を理解することに課題がある。
	重点	地図帳や地球儀、各種の資料でまとめ、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考えまとめさせる。

## 算数科

関心・意欲・態度	課題	内容は理解しているものの、発表することに消極的な児童が多く思考力・表現力、知識・技能の活用に課題がある。
	重点	学習に操作的活動を設けるなど、具体的に考える活動を通して基礎・基本を定着させる。ペアやグループでの教え合いの機会を設け、自信をもって説明できるように助言し励ましていく。
算数的な思考・判断	課題	数量的な見方や考え方をし、筋道を立てて解決していくことに課題がある。
	重点	文章問題を解いたり活用の課題に取り組んだりするときに、線分図や数直線などを効果的に使って、適切な立式ができるように指導する。
算数的な技能	課題	方法を理解しているが、作図や計算の正確さに欠ける児童がいる。
	重点	習熟の程度に応じた技能ドリルプリントなどを作成し、正確に行えるように技能の習得を目指す。
知識・理解	課題	小数の割り算の計算や立方体の体積の求め方に課題がある。
	重点	大田区ステップアップ学習を活用し、繰り返し計算させることで定着を図る。

## 理科

関心・意欲・態度	課題	日常生活で自然との関わりが少ないため、自然現象における知識理解が低い傾向にある。
	重点	校庭や地域(洗足池など)の自然環境を生かして、具体的な観察を通じた学習活動を進める。実際に自分の目で確かめることができるように、少人数での観察・実験の機会を多く設ける。観察の視点を与え、実感を伴った理解を図ることができるように指導する。
科学的な思考・表現	課題	自分の予想と結果を条件に目を向け、考察を書くことに課題がある。
	重点	観察、実験などを計画的に行っていく条件制御の能力を育てるとともに、既習事項を生かして考える習慣を育てる。
科学的な技能	課題	実験結果のまとめ方(表に整理する・数値化する)、観察の技能(何を見るかという視点をもつ)に課題がある。
	重点	問題解決に適した方法を工夫し、過程や結果を的確に記録する。
知識・理解	課題	基礎的・基本的な内容については理解しているが、電気と磁石の性質などに知識の混同が見られる。
	重点	観察・実験の振り返りを丁寧に、物質の特徴についての理解を深めることができるように指導する。

## 体育科

関心・意欲・態度	課題	運動に対する意欲は高いが、さらに上達するために自ら取り組もうとする意欲が高くない。
	重点	意欲を引き出すための学習カードや練習カードを工夫する。
運動に対する思考・判断	課題	運動が上達するために、自分で工夫して取り組むことに課題がある。
	重点	児童の発達段階に応じてスモールステップで順序良く具体的な指導を個別に講じる。
運動における技能	課題	普段の生活で運動する頻度に個人差がある。自分の腕で自分の体を支えたり、自分の体重をコントロールしたりすることができない児童がいる。
	重点	上半身を使った運動を準備運動の後の補強運動として、毎時間繰り返し取り組むようにして基本的な技の動き方や技のポイントを確実につかめるようにする。
安全・健康に対する知識・理解	課題	心の発達及び不安、悩みへの対処についての理解に課題がある。
	重点	心も体も同様に発達すること及び心と体は相互に影響し合うことについて理解できるようにする。

## 音楽科

関心・意欲・態度	課題	歌唱でも歌声に気を付けてきれいな声で歌うことができる。ただし中には歌声が消極的になってしまう児童もみられる。
	重点	曲のワンフレーズを取り出した声の響かせ方やことばの言い方などの発声練習を常時取り入れるとともに、連合音楽会に向けて意欲を高めていく。
表現の創意工夫	課題	曲想にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもって演奏することが十分ではない。
	重点	少人数で歌ったり互いのパートを聴き合う活動を通して、考え合い曲想表現を高めていくようにする。歌詞の内容・旋律の動き・構成などその曲の中で取り上げたい音楽的要素を明確にし、それを手掛かりにふさわしい表現を工夫させていく。
表現の技能	課題	リコーダーは、ほぼすべての音域を使用した楽曲に取り組むことが多いが特にサミングが必要なあたりで指使いが混乱するときがある。
	重点	リコーダーでは、曲に必要な運指を中心にした準備練習を行い、円滑に曲の練習に取り組んでいけるようにしていく。実態に即した教材を選択し、技能の段階的なステップアップを図る。運指につまづきがある児童には個別に指導する。
鑑賞の能力	課題	意欲的に楽しく聴き、音楽のよさや美しさ、音楽の諸要素・音色の特徴などをよく聴いて感じ取ることができるが、積極的に発言する児童が限られている。
	重点	音楽を形づくっている要素を把握できるように、聴くときのめあてを明確に掲示したり、ワークシートを作成したりする。またペアや全体など意見交換の場面を工夫する。

## 図画工作科

造形への関心・意欲・態度	課題	楽しんで造形活動に取り組んでいる児童が多い。継続できるようにする。
	重点	グループでの活動や造形遊びを多く取り入れて、さらに活動への意欲を高めていく。
発想や構想の能力	課題	発想を豊かに広げられなかったり、思いついたことの表し方がわからない児童もいる。
	重点	作品鑑賞を通して様々な表現に気付かせる。教師や周りの友達との話し合いをもとに、発想・構想できるようにする。
創造的な技能	課題	新しい用具の扱いが難しい児童がいる。個人差が大きい。
	重点	ICTを活用しながら、用具の使い方などを確認する。新しい用具の使い方を練習する時間を設ける。
鑑賞の能力	課題	友人の作品を楽しく見たり、よさに気付いたりして、自分の表現に取り入れることができる。継続できるようにする。
	重点	形や色、材料による表し方の違いなどに気付けるよう、感じたことを話したり、友達の話を聞いたりする活動を、活動の途中にも取り入れる。

